

スクリプト リスト

[jsgoe_win2.fmp12、jsgoe_mac2.fmp12]

フォルダ/スクリプト名	用途
D_最初のウィンドウが開いたとき	トップメニューを表示します。 メニューセットを切り替えます。
D_Window_title	ウィンドウのタイトルを指定します。他のスクリプトからも実行されています。
D_登録	新規データ登録用のサブウィンドウを開きます。
D_登録_windowclose	登録用ウィンドウを閉じようとしたときに実行されます。IDが空欄の場合は新規データを削除し、ウィンドウを閉じます。
D_修正	データ修正用のサブウィンドウを開きます。レイアウトは「L_新規登録」を使用しています。 術後診断と施行手術の登録時に使用するスクリプトです。
【術後診断施行手術】	プルダウンメニューで“その他”を選択すると、コメント入力お願いするメッセージを表示します。 [OK]をクリックすると、カーソルがその他欄に移動します。 プルダウンメニューから“その他”以外を選択すると、カーソルは次項目に移動します。 その他欄に値がありながら、“その他”以外を選択すると、その他欄をクリアするかどうかを確認するダイアログを表示します。 併施手術の登録時に使用するスクリプトです。
【併施手術】	他は【術後診断施行手術】フォルダと同様です。
D_Goto_合併症	“あり”のとき、合併症・偶発症用のレイアウトを開きます。腹腔鏡・子宮鏡・卵管鏡の各術後診断・施行手術の値をチェックし、最初に開くレイアウトを決めます。
D_Goto_リスト	トップメニューからレイアウト「L_リスト」を開きます。
D_リスト_全データ	リストで全データを表示させます。
D_Goto_初期設定	トップメニューからレイアウト「L_初期設定」を開きます。
D_Goto_学会提出	トップメニューからレイアウト「L_学会提出」を開きます。
D_Goto_追加情報	追加情報ウィンドウを開きます。ランタイム版ではレイアウト「L_追加情報」、Pro版では「C_追加情報」を開きます。
D_Return_メニュー	トップメニューに戻ります。
D_腹腔子宮卵管抽出	リストでの腹腔鏡、子宮鏡、卵管鏡データの検索機能
D_学会提出データ	データをCSV形式で出力します。ランタイム版とPro版で出力先のフォルダの階層が異なります。
D_初期設定	施設IDと施設名を設定します。
D_初期設定_idlock	施設IDの修正を禁止しています。
D_FM_end	アプリケーションを終了します。三回おきにjsgoe_dataのバックアップを自動作成します。なお、バックアップはjsgoe_data側のスクリプト「d_fm_end」が行っています。
D_合併症Count	合併症に関する項目にデータが登録されているかどうかチェックします。
D_合併症判定	D_合併症Countの実行結果により、合併症有無のデータを更新します。
E_データ移行	旧バージョンで登録したデータを移行します。
E_テスト移行	旧バージョンで登録したデータのテスト移行を行います。
E_テスト移行重複チェック	旧バージョンで登録したデータのテスト移行中に移行済みデータとIDが重複していないかチェックします。
E_移行病名術式変換	旧バージョンと新バージョンで名称が異なる病名、術式を変換します。
E_術後Window開く	術後診断用のHELPウィンドウを開きます。
E_施行Window開く	施行手術用のHELPウィンドウを開きます。
E_疑似Quick検索術後診断	術後診断用HELPウィンドウ内のテキスト検索の準備をします。
E_疑似Quick検索施行手術	施行手術用HELPウィンドウ内のテキスト検索の準備をします。
E_術後診断検索本体	術後診断用HELPウィンドウ内でのテキスト検索を行います。
E_施行手術検索本体	施行手術用HELPウィンドウ内でのテキスト検索を行います。
E_術後診断コピー	HELPウィンドウで選択したデータを術後診断のテキストボックスにコピーします。
E_施行手術コピー	HELPウィンドウで選択したデータを施行手術のテキストボックスにコピーします。

フォルダ/スクリプト名	用途
【腹腔鏡】／E_腹腔_Tab切替check	術中・術後のタブの切替えを検知し、入力チェックを行います。 合併症・偶発症データの登録時に使用するスクリプトです。
【腹腔鏡】／【腹腔鏡術中】 【腹腔鏡】／【腹腔鏡術後】	<p>“その他”をチェックせずにその他欄にカーソルを置くと、エラーメッセージを表示します。</p> <p>選択肢 “その他”をチェックすると、“その他欄にコメントを入力してください”というメッセージを表示します。[OK]をクリックするとカーソルをその他欄に移動します。</p> <p>その他欄に値があるとき、選択肢 “その他”のチェックをはずすと “先にその他欄の値をクリアしてください” というエラーメッセージを表示します。</p> <p>親項目*)が未チェックの場合は同欄も併せてチェックします。</p> <p>選択肢のチェックをすべてクリアしたときは、親項目*)のチェックもクリアします。</p> <p>親項目のチェックをはずすと、子項目もクリアしてよいか、確認します。</p>
【子宮鏡】フォルダ 【卵管鏡】フォルダ	<p>合併症・偶発症データの登録時に使用するスクリプトです。</p> <p>“その他”をチェックせずにその他欄にカーソルを置くと、エラーメッセージを表示します。</p> <p>選択肢 “その他”をチェックすると、“その他欄にコメントを入力してください”というメッセージを表示します。[OK]をクリックするとカーソルをその他欄に移動します。</p> <p>その他欄に値があるとき、選択肢 “その他”のチェックをはずすと “先にその他欄の値をクリアしてください” というエラーメッセージを表示します。</p>

例えば、ガス塞栓・皮下気腫・呼吸器系・循環器系…の選択欄の親項目は、「炭酸ガス注入に伴う合併症・偶発症」欄となります。
複数のレイアウトに動作が及んだり、レイアウトの切替えを行ったりする等、影響範囲が大きいスクリプトは先頭にD、またはEをつけています。
新規にスクリプトを作成される際はD、E以外のアルファベットをつけて、既存のものとは区別してください。

[jsgoe_data2.fmp12]

スクリプト名	用途
d_kidou	jsgoe_data.fmp12を起動したときに、レイアウト「Menu」を開きます。このスクリプトはアンケートシステムの動作には関係ありません。
d_fm_end	jsgoe_win (mac) の「D_FM_end」から実行されて、jsgoe_dataのバックアップを自動作成します。

先頭にdをつけています。新規にスクリプトを作成される際はd以外のアルファベットをつけて、既存のものとは区別してください。